

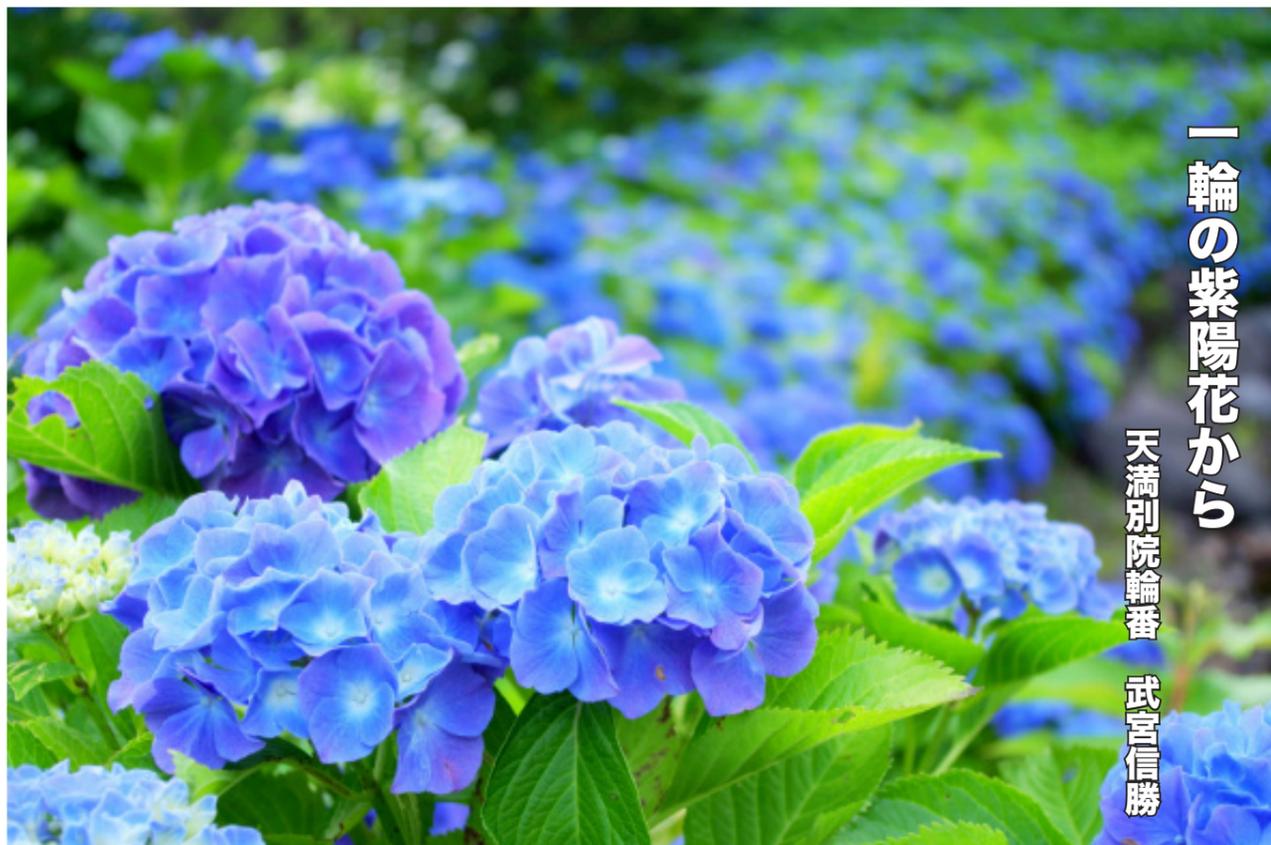
# 六字城

ROKUJIJO

2019/6/1

No.655

大阪市北区東天満 1-8-26  
06-6351-3535  
http://www.tenma-betsuin.jp  
代表者 輪番・武宮 信勝



## 一輪の紫陽花から

天満別院輪番 武宮信勝

四季折々に花が咲き、春の花から夏の花へ、観賞する人の心を和ませてくれる。紫陽花がそろそろ咲き始める。ただ不思議なことは、花卉が幾重にも重なりつつ、次第に円形上になることだ。生物学的なこととはともかく、本質的にひたすらに丸くなるうとしている。私達人間はどうかだろうか？

虐待・性暴力・いじめ・体罰・セクハラ・パワハラ・DV等々日常茶飯事の如く報道され続けている。被害者の辛い、悲しい叫び声が人の心に響き渡らないのはなぜだろうか。

今、政府は与野党を超えて、児童福祉士の配置基準を見直し、児童相談所の体制強化を図ること等を盛り込んだ「虐待防止法」の改正案制定に向けて、必死に対応しているようだが、規制によって人間の本质が変わるものではないと思う。私たちが生まれる以前から持っている宿業の身が問われてこない限り、世の中から虐待も暴力もなくなることはない。宗祖は「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」(『歎異抄』)と述べられた。人間は、そうあるべき事柄が身にかかる、どのような行動もおこしかねない業縁存在として生きている。その奥底には自己中心的な煩惱がはたらき、時には思いと事実が裏腹にうごめくような姿があらわれているのであろう。また、何々のつもりがと言いつに翻弄していくのも煩惱の所為である。

大事なことは、このような身の事実をしっかりと受け止め、「恥ずべし・傷むべし」と慙愧の念が湧くことではないでしょうか。そこに共生・共存の真宗生活が初めて始まるのでありましょう。

## 法要・行事予定

### 6月

- 9日・同朋の会例会（座談会）（午後2時）  
稲垣洋信師（第7組 長教寺住職）  
建部智宏師（第7組 教應寺住職）
- 12日・闍如上人御逮夜・常永代経（午後2時）
- 13日・闍如上人御命日※兼日中（午前8時）
- 15日・天満別院合唱団『みのり』（午後2時）  
村上奈津子師（第13組 超願寺住職）
- 17日・法要部会学習会※寺族対象（午後5時）
- 18日・存如上人御祥月御命日（午前8時）
- 20日・責任役員会・院議会（午後2時・4時）
- 23日・夏の御文法要（午後1時30分）  
沖野頼信師（第7組 本照寺前住職）  
・門徒会総会（午後4時）
- 24日・正信偈書写の会（午前10時）  
・夏の御文法要（午後1時30分）
- 27日・宗祖聖人御逮夜（午後2時）
- 28日・宗祖聖人御命日※兼日中（午前8時）

### 7月

- 11日・従如上人御祥月御命日（午前8時）
- 12日・闍如上人御逮夜・常永代経（午後2時）
- 13日・闍如上人御命日※兼日中（午前8時）
- 14日・同朋の会例会（午後2時）  
建部智宏師（第7組 教應寺住職）
- 17日・法要部会学習会※寺族対象（午後5時）
- 20日・天満別院合唱団『みのり』（午後2時）  
村上奈津子師（第13組 超願寺住職）
- 25日・宣如上人御祥月御命日（午前8時）
- 27日・宗祖聖人御逮夜（午後1時30分）  
・定例法話  
榎屋義雄師（榎屋クリニック院長）  
「老人医療の現状と行方」
- 28日・宗祖聖人御命日※兼日中（午前8時）

### ◆鳴物等 公開講習会

天満別院では左記の通り、鳴物等の公開講習会を開催いたします。御講師には大阪教区准堂衆会の方々にお願いをしております、対象者は得度を受式された方であれば、どなたでもご参加できます。

お申し込みは寺務所まで FAX またはお電話にてご連絡ください。是非お気軽にご参加くださいますようご案内いたします。

### 記

#### 日時

6月17日（月） 午後5時～午後7時  
7月17日（水） 午後5時～午後7時

### 天満別院 今月の伝道掲示板

生きていて

よかったなあ

分かって下さって

よかったなあ。

— 伊奈教勝 —

### 編集後記

6月に入りました。まもなく全国的に梅雨の季節に突入します。梅雨になると、蒸し暑く、洗濯物が乾きにくく、私たちにとって不快に感じる人が多いと思います。ただ、冷静に考えると、雨は植物の成長に欠かせませんし、飲料水や農業用水など人間にとっても大切なことです。普段、雨が降ると何をすることも億劫に思う私は、自分の都合で生きているのだと感じさせられます。  
(H)

本山（東本願寺）御用達

**(株) 平安法衣堂**

〒600-8153  
京都市下京区東町本願寺大門前  
電話 (075)-351-3681  
FAX (075)-351-5563

株式会社 **太田石材店**

本社  
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号  
TEL(06)6930-5075 FAX(06)6930-5078

工場  
〒536-0017 大阪市城東区新富多東1丁目8番2号  
TEL(06)6968-8111 FAX(06)6968-8805

<http://www.otasekizaiten.co.jp/>

中陰は三ヶ月にまたがるといけない？



「中陰が三月(みつき)にまたがると良くないから、三十五日で切り上げて下さい」といわれる事があります。

世間では中陰が三月にわたると「三月またぎ」と縁起が悪い事として考える人がおられているようです。その理由は、四十九日が三月にわたるということを四十(始終)・九(苦)・三月(身付)「始終・苦が身に付く」との事です。このようなことを根拠に死や苦しみを嫌ひ三月またぎは縁起の悪い事として広まっているようです。これ

は単なる語呂合わせであり、月の中旬以降に亡くなられた場合の満中陰は必ず翌々月(三ヶ月後)に当たります。

本来、仏教では死後四十九日間一週間ごとに亡き人を偲び仏事を勤めて、さらに満中陰後は、毎月のご命日ごとにお勤めをする仏事を大切にされてこられました。これは単に亡き人が死後迷わず成仏するようにと供養してあげるといふことではありません。真宗門徒の生活は、月のご命日や中陰中に仏事を勤めることで、身近で大切な人の死を見据え、先に亡くなっていかれた人の真の願いとは何かということを訪ねること。つまり、身近で大切な人の死を通して自身の生死を見つめ、あらゆるものごとを分別している身勝手な私のあり方を問い直し、そのような私でも必ずお救いになってくださるという弥陀の本願に出遇わせていただく大切な期間なのであります。(第7組 長教寺 稲垣 洋信)

答え

◆責任役員の内命について

去る3月30日に天満別院に於いて院議会が開催され、責任役員を選出について審議が行われました。審議の結果左記の方々が選出され、承認いただきましたのでご報告いたします。

責任役員

記

・奥林 暁

(南桂寺住職)

東本願寺宗議会議員)

・榎屋 義雄

(榎屋クリニック院長)

・谷 康司

(日隆産業株式会社)

代表取締役社長)

任期期間(三ヶ年)

2019年2月1日)

2022年1月31日

◆門徒会総会のご案内

天満別院では左記の通り、門徒会総会を開催いたします。総会後には懇親会を予定しておりますので、是非ご参加ください。

記

門徒会総会

日時 6月23日(日) 16時

場所 天満別院 1階講堂

協議内容

天満別院門徒会

・2018年度事業報告

・2018年度会計報告

・会計監査報告

天満別院門徒会

・2019年度事業計画

及び予算案審議

・その他

懇親会

時間 午後6時(総会後)

場所 東天紅 OMM天満橋

大阪市中央区大手前1-

7-31 OMMビル20階

会費 5000円

※ ご出席の方は同封の別紙にてFAXまたはお電話にて寺務所までご連絡ください。

◆6月23・24日 夏の御文

「阿弥陀佛から智慧をいただいで

「阿弥陀佛から智慧をいただいで 楽になる方法」



本照寺前住職

沖野 頼信 師

蓮如上人からのお手紙「夏の御文」(一)を読んで最初に気付くことは、親鸞聖人のお詠みになった正像末和讃(三十四)から「智慧の念仏得ることは 法蔵願力のなせるなり」に続いて、正像末和讃(三十三)の「信心の智慧に入りてこそ、仏恩報ずる身とはなれ」と二つの和讃を組合せて、真宗の念仏とか信心は「智慧」を得るためのものなのだ、ということをお教えられます。

智慧とは「この世の真実」が顕かになることです。 正信偈の天親菩薩のところ「修多羅(経)に依って真実を顕かにする」とあります。

お経は、広い視野で、この世を客観的に見ると、この世は「良いも悪いもない世界」であることに気付かせてくれるものです。

良い悪いはこの世の性質ではなくて、私にとって「都合が良いか悪い」で、私が決めているもの

なのです。

だから「良い悪い」は人によって、また国によって違うので、喧嘩になったり戦争になったりするのは、次「安心決定鈔・本」から「阿弥陀仏という名号を聞いたから既に法蔵菩薩の本願が成就して阿弥陀仏になっておられるのだから、わたしが浄土に往生することも決定しているのだ、ということがわかる」と述べられています。

「南無阿弥陀仏」は、感謝の念仏で、なにか「お願い」のための念仏ではありません。 またこの世は浄土であるということが分かったら、そこは「良いも悪いもない」のですから、念仏もまた良いものでも、悪いものでも無いのです。

このことがわかったひとは、もう努力をしたり、頑張ったりしなくなり、苦しみが無くなるのです。 これを「安心」とか「他力本願」と言っています。

このようなことを憶念しつつ、お話ししたいと思います。 皆さまの御来院を お持ちしております

◆5月定例法話 開催の報告

第13組 願乗寺 田中寛子師

久々に女性講師をお招きし、沢山の方々が聴聞に訪れました。

師はご自身の病床体験を通して、「人はしあわせ・豊かさを求めて生きていくが、本当の豊かさは、本当のしあわせとは何かを考えて欲しい」と述べられました。

また先師から「人は生まれてからの願いに先立って、生まれながらの願い(いのちの願い)を持っている」と教えられたと話され、「しあわせとは、いのちの長短・病気の有無や貧富ではなく、無量寿にであひ、泥水に蓮の花が咲く如く苦しみ、悲しみが功德の縁になっにすることに気づかせていただきましょう」と、優しく問いかけてくださいました。

◆青年部会主催 講習会のご案内

天満別院では、青年部会が昨年より新たに発足し、今年3月の講習会に続いて、新たに講習会が天満別院崇敬寺院を対象に開催されることになりました。

つきましては左記の通り講習会を開催いたします。崇敬寺院の方々には申込ハガキを同封いたしますので、6月30日までに返信又はお電話にて寺務所までご連絡ください。

記

テーマ「別院と崇敬寺院」

日時 7月12日(金) 午後4時~午後6時

場所 天満別院 1階講堂

講師 本山宗務所

本願部部長 近松 誉師

講義内容

「崇敬寺院とは

〜役割と今後について〜」

講習会費 1000円

※ 講習会終了後には御講師との

会食を予定しています。

会費 5000円

(学生3000円)

場所 天満別院周辺